

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 523 2016.10 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫
副 会 長 西澤 紘一
書 記 目黒 卓
会 計 平林 正子
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 花井 雅男

10月 収穫感謝祭

大地は作物を实らせました。神がわたしたちを祝福して下さいますように。
(詩編67:7)

<大地に実った作物を見て、私たちもその行動で実を結んでいけるよう、
神さまに祝福を祈りましょう>

2016年10月 第一例会

日時:2016年10月19日(水) 18:30～20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931

受付:布上君/司会:柿沼君

開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古 平 君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
食事 ニコニコ(一言添えて)

メンバースピーチ 佐野 守君
スペシャルオリンピックス・卓球コーチ・アドバイザー
(益)日本障がい者協会 指導員
東京都障がい者指導員協議会 理事
演題 「障がい者スポーツについて」

Happy Birthday<10月 メン1名 メネット2名>
YMCA 情報 花 井 君
ニコニコ発表 浅見ク 君
閉会点鐘 浅見会長

～EMC-E/YES 強調月間～

クラブ EMC 委員長 佐野 守

<Extension, Membership & Conservation>

Eはクラブ拡張、つまり新クラブを設立すること。

MCは会員増強と維持啓発、つまり新会員の獲得。

ワイズ運動が生き生きと活動し継続していくためには常に新しい若い会員の入会と、新しいクラブの誕生が必要です。このことを可能にするために、各会員はEMCをひと時も忘れず、知恵を出し情報の収集に努め、小さな可能性でも、チャレンジする事が大切です。

我がクラブも年々高齢化しています。過去には地域事業(神田川関連)からの新しい会員とか学生時代の同級生の勧誘活動がありメンバーが加わりましたが、重要なメンバーがお亡くなりになったり、休会者が出たりと、少人数になることで、いささかクラブ活動も低迷しがちです。

何よりも大事なことは、日常のクラブ活動やCS活動の楽しさ、集うことの楽しみ、協働することの充実感、我々自身が澁刺とした姿を見せることで、一人でも多く魅力を感じて参画してくれるように願うことです。

まずは退会者を出さないこと。今後もEMCという永遠のテーマを忘れずにクラブ活動に励みたいと思います。

皆様のご協力をお願いいたします。



*久しぶりのメンバースピーチ。楽しみにしましょう。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 13/16 81%
出席:9月例会 (グリーンメン 11名、メネット1名、ゲスト1名、ビジター3名)計16名
【ニコニコ】 9月例会 25,000円(藤田教授のご寄付あり) 累計 38,000円

＜2016年9月 第一例会報告＞

日時:2016年9月21日(水)18:30~20:30

場所:千代田区和泉橋区民館 2階

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・古平・佐野
高谷・西澤・布上・花井・平林 (メネット)布上
(ゲスト)林繁一氏
(ビジター)藤田 智・田中博之(東京多摩みなみ)
村野 繁(東京目黒) <敬称略>

定刻に西澤メン司会により開会、恒例のセレモニーを消化し、今夕は7月17日にチャーターされた東京多摩みなみクラブメンバー藤田 智氏をお迎えし「野菜作りと人づくり」と題して卓話を伺った。



縄文時代の遺跡からは1500種位の植物を摂っていたが、現在では日常的には30種位しか摂っていない。一面から見れば非常に貧しい食生活であると話され納得!

現在食事に供されている野菜がかなり渡来種であることにビックリした。また、野菜作りがもたらす影響の一つに手造りの美味しさや、それを機に家庭内に於けるコミュニケーションが円滑になったこと、健康な食生活に野菜が果たす役割などを分かりやすく話された。ただ、「野菜を多く摂ると肥満が防げます」と大変立派な太鼓腹をゆすりながら話されると、すかさず当クラブメンバーからお腹を指摘されると「私は野菜以上にお肉が大好きなもので」と全く意に反さず応答され一同大爆笑に包まれました。

NHKでの放送テキストや著書を多数寄贈されました。折しもロールバックマラリヤを東進部部に併せて開催されるキャンペーンを村野大会実行委員長がアピールされ、その売上代金を入場券購入に換えて寄付いたしました。



他に、田中メン、林氏をお迎えして和やかな内に閉会。

恒例の懇親2次会は、翌日に木場公園で予定されているYMCA

チャリティランのお手伝いに多くのメンバーが早朝から参加されるのでカットされました。

藤田様には興味あるお話なので続編を伺う次回お招きした折に懇親を深めることでご了承いただきました。

(浅見隆夫 記)

＜2016年9月 第二例会報告＞

日時:2016年9月14日(水)18:30~20:00

場所:千代田区和泉橋区民館 4階

出席:浅見(隆)・柿沼・平林・目黒・布上

2016年9月14日 和泉橋区民館 会長 浅見隆夫

1. 配布資料

① チャリティラン 9月22日開催 チラシ配布

2. 報告・連絡事項

① 青木ユース主査 11月例会卓話(11月16日)了承

② 富士山例会 クラブ参加なし

③ 北東部部会 々

④ 東新部部会 々

⑤ 関東東部部会 10月15日(土) つくばにて
青木・浅見(T-K)・佐野・柿沼・布上(S-N)・平林・目黒 参加予定

⑥ YVLF 9/10 山中湖 報告 西澤レジュメ

⑦ 2015~2016東日本区会計…承認

⑧ 12月クリスマス例会

プログラム委員

12月21日(水)湯島「カスター」西村 協 ライヴ
食事・オードブルは大新より

会費 8000円/名(+α追加クラブ負担)予定

⑨ チャリティラン委員会報告(布上)

ヴォランティア参加:青木・浅見(T-K)・柿沼・佐野・平林・布上(S-N) *グリーン担当:ラッフル販売・記録(カメラ)・警備&荷物番 8:30集合

<豪雨で中止となる・開催当日決定>

⑩ 神田川船の会

9/30までに乗船者を固める。

ワイズ関連のまとめを急ぐ。

⑪ 9月例会卓話

藤田 智 先生「野菜作りと人づくり」

田中博之元理事 ビジターで出席

3. 審議・協議事項

① グランチャ東雲「ふるさとチャリティ秋祭り」の件

*ドリンク販売希望

10月22日(土) 9:00~17:00 浅見・布上参加

【神田川委員会関連の予定】

・グランチャ東雲 川下り 9月23日・24日 (柿沼・布上)

・第74回神田川船の会 10月29日(土) (全員参加)

・昌平小学校船の会 (稲垣・柿沼・平林)

10月20日(木曜)講義 10月24日(月曜)船の会

・定年時代/船の旅 (有志ガイド 協力)

11月04日(金曜)、05日(土曜)、08日(火曜)

09日(水曜)、10日(木曜)、11日(金曜)

14日(月)、15日(火)

(浅見隆夫 記)

グランチャ東雲 江戸文化と川下り乗船会



2016年9月23日(金)及び24日(土)の2日間にかけて東京YMCAとグリーンクラブの共働CS事業である第6回「グランチャ東雲:江戸文化と川下り乗船会」が開催された。

グランチャ東雲が開館した年から始まった、江東区の60歳以上のお年寄りを特別優待して川巡りを楽しんでもらおうという企画。毎回抽選で40名の定員に60名以上の参加希望がある。

23日初日はグランチャへお集まりいただいてグリーンから柿沼と布上が行き、PPTを使って「江戸の街造り」について詳細な説明をし、川に架かる橋の説明、翌日のクルーズの概略説明などの講演をした。

24日クルーズ当日は皆さんに浅草橋へ来ていただき船宿・三浦屋から「粹人丸」で出航、船長は新倉ジュニア。神田川～日本橋川～亀島川～隅田川～晴海運河～小名木川等々たつぷりと時間をかけてクルーズ、ガイドもいつも通り行い、皆さんに喜んでいただき、また乗りたい、と大変好評であった。グランチャからは加藤君と新藤さんが同乗し、しっかりと皆さんのお世話をしていた。(布上 記)

第30回 東京YMCA
インターナショナル・チャリティラン



9/22 豪雨にて中止となりました



グリーン参加者は木場の「サイゼリア」で残念会

グランチャ東雲: アンダーゴルフ開催

2016年9月30日2時～3時30分に3ヶ月に一度の東雲アンダーゴルフが開催されました。グランチャ東雲から篠寄さんと倉島さんが、グリーンから柿沼さんと古平がリーダーとして参加しました。ゲーム参加者は13名。ほとんどの方が経験者で、難しいコースも楽しく挑戦されて90分はアツという間に過ぎた感じでした。室内のためボールがよく転がり、その加減が難しいこと。カップイン(ゴール)した時は万歳して喜び合います。今回は、チームに分かれて、チーム全体の成績で優勝を決めました。リーダーの指導よろしく僅差で「柿さんチーム」が優勝でした。トロフィが渡され撮影したのですが、シャッターチャンスが悪く、トロフィなしの写真掲載となりました。次回は12月開催となります。第一か第二の金曜日です。ご協力お願いします。(古平 記)






東京都公園協会公認ガイド・4期生として佐野守さんが認定されました。これでグリーンクラブは3期生: 浅見(隆)・浅見(ク)・稲垣(勝)・稲垣(重)・柿沼・布上・樋口・平林・目黒に加えて10名になりました。

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
(2016-17年度 会計: 平林正子)

みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)

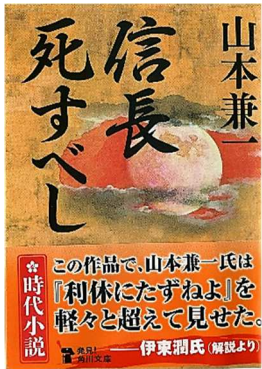
(口座名) 東京グリーンワイズメンズクラブ

Happy Birthday

10月 高谷禎宣(メン) 古平邦子(メネット)
柿沼澄子(メネット)

第31回「信長死すべし」

山本兼一著 角川文庫 2014/12/25 刊



「本能寺の変」は、天正10年6月2日(1582年)、明智光秀が謀反を起こして京都の本能寺に宿泊していた主君織田信長を襲撃した事件である。信長は寝込みを襲われ包囲されたのを悟ると、寺に火を放ち自害して果てた。信長の非業の死によって織田政権は崩壊し、天下人となった光秀であったが、中国大返して畿内に戻った羽柴秀吉に山崎の戦いで敗れて、僅か13日後に光秀もまた同様の運命を辿った。この事件は戦国乱世が終息に向う契機となったので、戦国時代における最後の下剋上とも言われる。光秀が謀反を起こした理由については、定説が存在せず、「日本史の謎」「永遠のミステリー」などと呼ばれ、様々な人々が多種多様な説を発表している。(Wikipedia 参照)

さて、山本兼一著の「信長死すべし」は諸説ある中で「朝廷黒幕説」を描く。信長はすでに天下の過半を手中にし、荒々しく新国家改造を進め、ついには我こそ「神」とまで思い込み、時の第106代^{おおきま}親町天皇の退位まで迫るようになっていった。この状況には帝も容認できず、信長肅清指令を関白近衛前久に出した。前久は熟慮の上、この重大な「勅命」を明智光秀に伝え暗殺実行を命じた。

巻末で解説を書いている伊藤潤によれば、<山本兼一の書き方は、最初に犯人を明らかにする、「刑事コロンボ」などに使われた倒叙法という手法で犯人側の心理が密に描けるメリットがある。構成としては登場人物にそれぞれの思いを語らせ、本能寺という消滅点に向かってカウントダウンしてゆく手法をとっており、それぞれが運命の渦に巻き込まれていく様は、実にスリリングである>。

明智の軍団に本能寺で包囲された信長は寺に火を放ち、自刃したということになっている。信長48歳。

「人間五十年^{にんげん} 下天の内を比ぶれば^{げてん うち くら} 夢幻の如くなり^{ゆめまほし} 一度生を享け 滅せぬ者のあるべきか」～敦盛～

改革者・政略家・破壊者・無神論者・・・信長の後に続く豊臣秀吉、徳川家康に多大な影響を与え、それぞれの政権維持には信長の家臣が大いに力を尽くしている。



山本兼一氏は2014年2月に57歳で亡くなっている。「火天の城」で松本清張賞、「利休にたずねよ」で直木賞。そして今年文庫本で刊行した「修羅走る関ヶ原」。それぞれとても面白く読んだ。山本氏の著作は少なく、全部で20数点。

刊行されているものを全部読もうと思っている。

何しろ文章が素晴らしい。(布上 記)

▼9月10日、新宿駅前で行われた恒例の国際協力街頭募金が行われた。会員、園児、学生、ボランティアリーダー、ワイズメンなど162人が炎天下のもと呼びかけた結果、146,684円が寄せられた。寄せられた募金は、主にバングラデシュYMCAの子どもや若者を支える活動のために用いられる。

▼YMCAのブランド再生をテーマに、一昨年からの全国的YMCAで「ブランディング」への取り組みが始まっている。著9月10日、東陽町センターを会場に「ブランドコンセプトの発表とわかち合い」が行われ、主に東日本地区の13YMCAから71名が参加。昨年末に行なった10,000人イメージ調査などの内外調査の結果や、そこから明らかになった課題が共有され、それらをもとに導き出された新たなブランドコンセプトが分かち合われた。今後、このブランドコンセプトに、YMCAの実施する活動や事業を照らし合わせ、一つひとつの質を改めて点検していくことになる。来年10月には、全国YMCAのブランドスローガンが示され、ロゴマークも統一される予定。

▼9月22日に予定されていた「第30回国際チャリティラン」は、荒天のため急遽中止となった。

▼10月31日～11月2日に「第19回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会(STT)」が開催される。今回は東京YMCAが主管となり、3つのYMCAから理事・監事・評議員・運営委員・ワイズメン等を迎え、「高齢社会におけるYMCAの役割」をテーマに学びと分かち合いを行う予定。約60名の参加が見込まれている。

▼感謝

「フrostバレーYMCA」より熊本地震緊急支援募金として507,500円(\$5,000)ご寄付いただいた。

「東京-フrostバレーYMCAパートナーシップ」より熊本地震緊急支援募金として474,005円(\$4,670)、東日本大震災復興支援募金として71,050円(\$700)ご寄付いただいた。

▼今後の主な行事日程

- ・第47回全国YMCAリーダー研修会 10月8-10日
(神戸YMCA余島センター)
- ・第19回日本YMCA大会 10月8-10日
(東山荘)
- ・第33回会員ソフトボール大会 10月10日
(出版健保グラウンド)
- ・ソシアスフォーラム2016 11月26日
(山手コミュニティーセンター)
- ・第19回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会
10月31日～11月2日
(リッチモンドホテル東京押上 他)

(担当主事 花井 記)